

小田原市自転車ネットワーク計画の策定に対する市民意見の募集結果について

1 意見募集の概要

政策等の題名	小田原市自転車ネットワーク計画の策定
政策等の案の公表の日	平成26年1月9日（木）
意見提出期間	平成26年1月9日（木）から平成26年2月7日（金）まで
市民への周知方法	意見募集要項の配布（ホームページからのダウンロード、建設政策課、行政情報センター、各タウンセンター、支所、連絡所及び窓口コーナー）

2 結果の概要

提出された意見は、次のとおりです。

意見数（意見提出者数）	2件（2人）
インターネット	2人
ファクシミリ	0人
郵送	0人
直接持参	0人
無効な意見提出	0人

3 提出意見の内容

パブリックコメントで提出された意見の内容とそれに対する市の考え方は、次のとおりです。

<総括表>

区分	意見の考慮の結果	件数
A	意見を踏まえ、政策等に反映したもの	1件
B	意見の趣旨が既に政策等に反映されているもの	0件
C	今後の検討のために参考とするもの	1件
D	その他（質問など）	0件

<具体的な内容>

(1) ネットワーク計画に関すること

	意見の内容（要旨）	区分	市の考え方（政策案との差異を含む。）
1	<p>国道1号のネットワーク計画について、国道拡幅ではなく、コスト面に配慮しつつ、利用者の快適性に優れた海沿いの裏通りを整備した方が良いのでは。</p>	C	<p>国道1号を拡幅することなく、海沿いの裏通りを整備。また、コスト面と併せ自転車利用者の快適性および景観への配慮に関するご提案をいただきました。</p> <p>小田原市内の国道1号は、箱根駅伝でも全国的に知名度の高い道路であり、自転車走行環境の向上は自動車利用からの転換も見込まれることから、ネットワーク計画に組み込むこととしました。</p> <p>海沿いの裏通りについては、連続性が確保できないことから、今回の計画では選定しない方針としました。</p>
2	<p>諸外国での自転車通行は、歩行者と車との分離が最善策として道路設計がなされている。自転車利用の拡大・省エネ社会の実現のためには、社会インフラの整備が重要であり、道路幅の狭い日本での実施は困難であるが、幅員の広い道路においては、一部でも車道・歩道と分離した構造を設置すべきでは。</p>	A	<p>自転車利用拡大に向けた社会インフラのご提案をいただきました。</p> <p>海外と比較し、道路幅が狭いとの実情も踏まえたご意見であり、大変有益なものであると考えております。一部でも自転車通行帯が設置できる区間においては、安全かつ利便性を考慮し、自転車歩行者道内での自転車通行区分を明示する等により、自転車ネットワーク計画に反映させていただきます。</p>

4 提出意見と関係なく変更した点

	政策案との差異	市の考え方
1		